

ONESOURCE
Global Classification

国際品目分類

常に正しい商品分類コードを
取得

ONESOURCE Global Classificationを導入すると、複数国間での輸出入をシームレスに実施するために必要な、主な品目分類データ（製品情報、HSコード、概略図など）の管理が可能になります。



課題

商品分類が集約化されていない場合、コンプライアンス違反の原因となる可能性

グローバル・サプライチェーンの拡大や各国の規制強化にともない、国際貿易は年々複雑化しています。それに加えて、社内各部門が世界各地の商品分類に複数の手順を採用している場合、不整合や関税の過払い・不払い、コンプライアンス違反の原因になります。

そのため、分類データの収集・保存・管理をより集約的な形で行うことが必要になります。また、コンプライアンスを確保できる分類作業自体を、時間をかけずに管理する方法を見いだすことも、課題になる場合があります。



ソリューション

240の国・地域の最新の関税表にアクセス

ONESOURCE Global Classificationを導入することで、世界の240の国・地域の規制に関する最新情報（200人以上のリサーチャーが更新）を入手できます。これにより、製品分類の決定や維持に費やす時間を削減できるとともに、部門全体の一貫性や協働態勢の向上も可能になります。

また計画策定やリサーチ、コンプライアンス、モニタリング、事後確認に必要な世界の貿易情報を入手できるほか、効率性向上に役立つ人工知能（AI）ツールも利用できます。更にSmart HS toolを利用すれば、AIと機械学習を活用した6桁の自動分類コードによって、時間の短縮と正確性の向上も実現できます。



導入メリット

正確で一貫性のある分類を自動で実施

ONESOURCE Global Classificationの導入により、分類業務ワークフローの簡略化・自動化を実現し、分類業務に費やす時間とリソースを削減するとともに、正確性を高め、全社的な協力体制を向上します。また取引の証跡を完全に保全することで、検認にも常に万全の態勢を整えることができます。

AIと機械学習の活用により、6桁レベルの分類を自動化するとともに、事業部門間や拠点間で、分類決定の一貫性を確保することが可能になります。主要な基幹業務ソフト（ERP）と統合し、既存の材料管理ワークフローに組み込むことで、規制変更が製品の分類や評価に与える影響の判断を支援することも可能です。



The Features

インテリジェント・オートメーションで主な輸出入分類データを管理

ONESOURCE Global Classificationの特徴

- 240以上の国・地域に必要な主な輸出入分類データを管理
- データの完全性を確保するための承認手続きを設定するとともに、会社特有の製品データ機能をトラックするユーザー定義フィールドを設定
- 最新の規制関税データを入手し、現行の分類方法が適用されるよう確保
- 在庫処理システムとのインターフェースにより重複したデータ入力を削除するとともに、製品・取引情報を自動的に把握します。拘束的裁定情報や、他のシステム（米国のCROSSシステムやEUのEBTIなど）へのリンクを保存
- あらかじめ統合されたIntegration Point Global Trade Contentのデータを通じて、製品の分類・再分類の妥当性を確保
- グローバルな（WCO）分類プロフィールや1か国のプロフィールから、他のプロフィールへデータエレメントを転送することにより、時間の節約を実現
- そのまますぐに使える標準的なレポートやクエリー、スコアカードを活用して、データ分析やワークフロー管理を支援することが可能
- モダンAPIを活用することで自社のERPシステムとシームレスに統合
- 複数言語を使用できるので、取引相手とのコミュニケーションが強化

お問い合わせ

☎ 03-4520-1350 ✉ marketingjp@tr.com

トムソン・ロイターについて:

トムソン・ロイターのONESOURCE™は、業界トップクラスの法人税テクノロジープラットフォームです。ONESOURCEは、貿易関税コンプライアンスと企業会計をめぐる意思決定を支援します。ONESOURCEは、世界180か国以上で、法人所得税、間接税、固定資産税、信託税、税務報告、移転価格、データ管理、企業内プロセスなど法人税をめぐる全ライフサイクルにわたり企業のコンプライアンスの維持、罰金・監査の回避、作業時間の短縮と業務効率の向上を支援しています。

詳しい情報は、tax.tr.com/onesourceでご覧ください。

